

## プレゼンテーション

### 口頭発表

調査研究をした内容を発表するには、論文に書いて行うと同様に、聴衆を前にして口頭発表する場合もあります。どちらも、その目的は効果的に自分の主張したい内容を伝えることにあります。

今週は、口頭発表（Presentation）のやり方を学びます。

### 発表の3要素

良い発表とするには、3つの要素を考慮しなければなりません。

内容、話し方、そして話す時の条件です。

#### A. 内容

大事なことは、話さねばならない多くの事柄のうちから、与えられた時間内に、ぜひ伝えねばならないものを選びだすことです。聞き手にとって耳新しく、聞く価値のある内容でなければ、人は聞いてくれません。話すポイントを選び、焦点のはっきりした内容に絞り込みます。普通の研究発表には5つのポイントがあります。

1. 題名、氏名：堂々と、はっきりと伝えます。
2. 何故そのテーマを選んだか：そのテーマについて調べることがいかに大切か、その意義が伝わるように熱心に語ります。
3. そのテーマについて何が知りたかったか：具体的な調査項目を明確にします。
4. そのテーマについて何が分かったか：調査の結果を整理して伝えます。
5. まとめ：自分の主張したい内容を最後に伝え、印象的に締めくくります。

#### B. 話し方

いくら良い内容の発表でも、ただだと話したり、恥ずかしそうに小さな声で聞こえないようでは、相手に伝わりません。自分が聞く立場になることを考えれば分かることです。一言でまとめれば「聞き手に親切な話し方」が良い話し方と言えます。

きちんと立つ。聞き手を見る。メモは見てもよいか読むのではなく語りかける。話し方は、生き活きと明瞭に。落ち着いた態度で。マイクを上手に用いて、自分の声が聞き手に伝わっているかを確認しながら話す。自然な身振り手振り、ジェスチャー、そしてユーモアのある話し方が出来るようになれば上級クラスの発表です。聞き手に視線を合わせて、あなたに語りかけるのですという演出や、声にバラエティーを持たせて大事な点を強調したりしてください。初めての発表の時はリハーサルをして、友人からアドバイスを受けるのも良いでしょう。

#### C. 条件：聞き手、持ち時間、準備

だれに話すかによって、話し方は変わります。持ち時間を守るのも大事です。話す時の条件を確認して準備しましょう。必要なら配布資料を準備し、細かなデータはそれを参照してもらう事もできます。コンピュータのプレゼンテーション機能を用いてビジュアル資料も作りましょう。人は耳で聞いただけでは話しの20%しか記憶しないが、それに目で見た情報が加わると50%を記憶すると言われています。

あなたの研究した内容を、自信を持って発表してください。